

遠野産ホップに願いを込めて キリンビールの初仕込み式

遠野産のホップを使ったキリンビール「一番搾り」とれたてホップ生ビール」の初仕込み式は9月12日、仙台市のキリンビル(株)仙台工場で開催されました。出席した関係者ら150人は良質の「とれたてホップ」の完成を願いました。

今年は本市とキリンビールのホップ契約栽培50周年、「とれたてホップ」製造10周年の節目の年。本田市長は「節



新築され、認定こども園として開園した遠野聖光保育園

25万ケース(約3千キロ)を見込んでいます。同ビールの数量限定で10月29日から全国で販売されます。



仕込み釜に遠野産ホップを投入する本田市長

保育と幼児教育の一体的提供 認定こども園の認可を受け

学校法人岩手キリスト教学園は、遠野聖光幼稚園(三浦洋一園長)の敷地内に保育園を整備し、「認定こども園めぐみ 遠野聖光幼稚園 遠野聖光保育園」として新たに開園しました。

出産後の早期職場復帰など、昨今の時代の流れから、3歳未満児の保育ニーズが高まっております。市も設置費の一部を補助するなど、学園への支援

園は、遠野聖光幼稚園(三浦洋一園長)の敷地内に保育園を整備し、「認定こども園めぐみ 遠野聖光幼稚園 遠野聖光保育園」として新たに開園しました。

整備された保育園の定員は33人で、0歳児から2歳児までが対象です。1階は乳児室や保育室、2階は調理室のほか、子育て相談などができるコーナーが設けられています。保育時間は7時(月)～18時(土)、延長保育は18時～19時(月)～金で完全給食制です。問い合わせは遠野聖光保育園(60-2551)まで。

防災センター設立一周年記念 消防の仕事を学び体験する

市総合防災センター設立一周年記念式典と消防フェアは9月7日、同所で開催されました。参加者は消防訓練や講演会など多彩な催しを通じて節目の年を祝い、消防活動への理解を深めました。

式典は遠野北小の児童による薬研太鼓で幕を開け、訓練棟に一周年を記念した横断幕が掲げられました。本田市長は「市民の安心安全や、津波

被害などが想定される地域への支援のために設置した施設。今日の催しを通じ、あらためて防災の大切さを知ってほしい」と願いを込めてあいさつ。参加者は放水や消火、消防車両乗車などの各種体験のほか、救急講演会などを通じ、防災について意識を高めました。大船渡市から参加した松澤竜之介君(6歳)は「本物の消防ホースを使った訓練が面白

かったです。将来は消防士になって、困っている人を助けたいです」と声を弾ませていました。



消防署員から消火器の使い方を学ぶ子ども

大学生の視点で市の観光検証 NPO、市と連携して実施

法政大学とNPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク、本市などが連携し取り組む総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業の社会実験の報告会は9月12日、まちおこしセンターで開催されました。学生の視点を生かし、これまでの観光商品の見直しと、新たな被災地復興支援モデルの創出を目的に実施。参加した大学生延べ40人は、本市に

1カ月滞在し取り組んだ被災地ボランティア活動や、市内循環観光バスの課題やその改善方法などを報告しました。リーダーの同大4年、西正浩さんは「震災を風化させないためには、観光と被災地支援ボランティアを融合させ、多くの人を呼び込むことが大切。今回の提案が復興の一助となればうれしいです」と願いを込めました。

避難や消火、図上訓練を実施 大地震に備え防災意識新た

市防災訓練は8月31日、市内各地で実施されました。参加した市民や消防団ら総勢6218人は、いざというときの備えや動きをそれぞれの地域で再確認しました。

訓練は午前7時に震度5強の地震が発生したことを想定して行われ、市民は地域それぞれのの一時避難場所に避難。市消防団や各自治会の自主防災組織らが、安否確認や放水訓練、炊き出し訓練などを実施しました。このほか穀町西公園では自衛隊も訓練に参加しテントを設営したり、救助資機材の使い方を市民に説明



市災害対策本部内の図上訓練の様子



各地区の点呼で安否確認をする参加者

したりしました。大船渡市から本市に避難している佐藤博さん、益さん夫妻は「大船渡では津波に対しての訓練だったので、遠野での訓練は勉強になる。今後も訓練に参加し、いざというときに備えたい」と防災への意識を高めていました。

遠野市災害対策本部では本部長や緊急初動特別班らが、市総合防災センターや各地区センターで参集訓練を実施したほか、情報伝達や被害状況の確認などの図上訓練も実施し、万が一の場合の動きを確認し合いました。



わたしの主張遠野地区大会 佐々木悠苗さんが最優秀賞

9月10日、遠野中学校で行われた第15回わたしの主張遠野地区大会で、佐々木悠苗さん(遠野東中3)が最優秀賞を受賞しました。佐々木さんは「夢をのせて」と題し、書道を通じ沿岸地域の心の復興支援に携わることができた経験から、これからも書道を通じという夢を熱く語りました。佐々木さんは9月19日の県大会に出場しました。

これからも書道を通じという夢を熱く語る佐々木さん

遠野市婦人消防協力隊 第21回全国女性消防 操法大会出場



遠野市婦人消防協力隊第8分隊第4部(上郷町平倉地区)の隊員6人は10月17日、神奈川県横浜市消防訓練センターで行われる第21回全国女性消防操法大会に出場します。大会は6人1チームで、ポンプ操作の正確性や動作を競います。隊員は就業後、市総合防災センターで厳しい訓練に励んでいます。ご声援よろしくお願いします。◆出場隊員 菊池百合子、菊池富貴子、菊池令子、菊池千恵子、菊池裕子、菊池アヤ ※敬称略